

令和4年産 仙南稲作情報（第2号）

令和4年6月21日発行
宮城県大河原農業改良普及センター
TEL: 0224-53-3431 FAX: 0224-53-3138
※この資料に関する問い合わせは、
上の連絡先までお願いします。

○生育は概ね回復傾向
○有効茎数が確保されてきているので、適期中干しを心がけましょう。

1 気象経過（丸森アメダス、6月1日～6月20日）

- ・6月は3日から15日まで低温傾向が続き、6日から11日までは日照時間が極端に少なかった。その後、6月16日から高温多照であった。
- ・東北南部の梅雨入りは、6月15日ごろ（平年より3日遅く、前年より4日早い）。

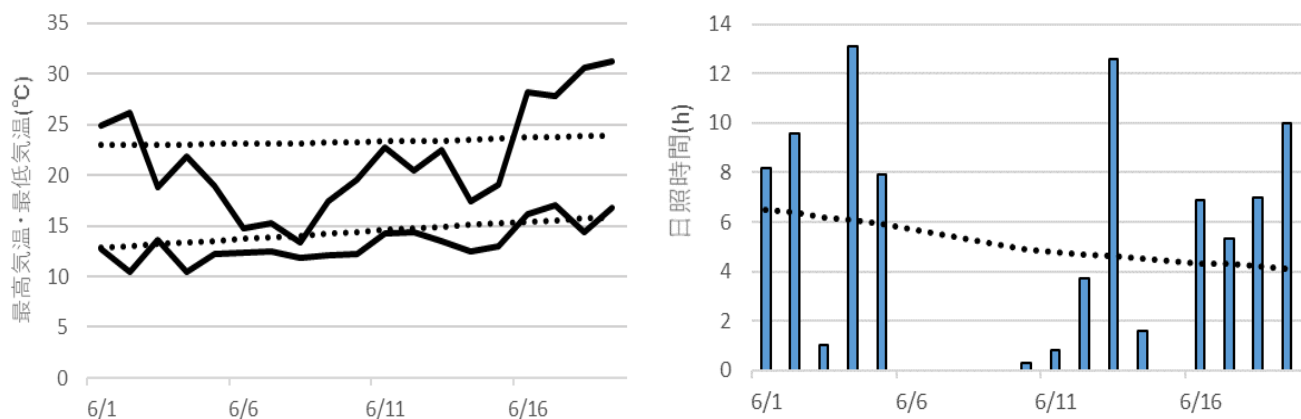


図1 気象経過（丸森アメダス、6月1日～6月19日）

※仙台管区气象台（6/17発表）の「向こう1か月の天候の見通し」では、東北地方は日照時間は平年並かやや少なく、降水量は平年並～多く、気温は高い見込です。

2 管内の生育状況

（1）【6月20日調査結果】

平年に比べて、草丈は短く、茎数は少なめ、葉数はやや遅れているが、葉色は急速に回復

- ・南部平坦の「ひとめぼれ」は、茎数は平年より「少なく」、葉数は「平年並～やや遅れている」状況となっています。大河原ほ場は「有効茎数」に達しています。
- ・西部丘陵の「ひとめぼれ」は、茎数は「少なく」、有効茎数の確保には至っていません。葉数は「平年よりやや遅れている」状況です。

- ・山間高冷の「やまのしずく」は、茎数は「平年並」ですが、有効茎数の確保には至っていません。葉数は「平年よりやや遅れている」状況です。
- ・6月中旬前半まで、低温、日照不足の傾向だったため、全般に生育は遅れていますが、6月中旬後半から、好天の日が多いため、水稻生育は回復傾向です。

□ 皆さんのほ場と場所や品種、田植日が近いところのデータを参考にして下さい。

表1 管内の生育調査結果（6月20日）

No.	ほ場所在地	地帯区分	品種	田植		草丈			茎数			葉数			葉色		
				本年	前年	(cm)	平年比	前年比	(本/㎡)	平年比	前年比	(枚)	平年差	前年差	(GM)	平年差	前年差
1	角田市	南部平坦	ひとめぼれ	5/18	5/14	34.1	82	78	226	48	51	9.4	▲ 0.2	0.1	44.4	1.5	1.1
2	大河原町	南部平坦	ひとめぼれ	5/7	5/8	36.1	83	72	556	89	79	9.1	▲ 0.4	▲ 1.0	48.8	4.8	3.9
南部平坦「ひとめぼれ」平均				5/12	5/11	35.1	82	75	391	69	65	9.3	▲ 0.3	▲ 0.5	46.6	3.1	2.5
3	角田市	南部平坦	つや姫※	5/23	5/20	25.1	65	63	152	42	44	5.9	▲ 2.2	▲ 2.4	38.6	▲ 3.2	▲ 4.5
4	村田町	南部平坦	つや姫※	5/4	5/4	30.9	66	65	371	78	69	8.4	▲ 1.1	▲ 0.7	49.3	4.3	3.9
5	白石市	西部丘陵	ひとめぼれ※	5/13	5/15	24.3	77	68	99	47	36	7.3	▲ 1.0	▲ 2.3	37.7	▲ 0.9	▲ 3.2
6	七ヶ宿町	山間高冷	やまのしずく	5/23	5/22	28.9	94	86	189	97	80	6.2	▲ 0.7	▲ 1.8	38.6	0.5	▲ 0.8

注)南部平坦「ひとめぼれ」平均は、南部平坦の「ひとめぼれ」2か所の平均となっています。

◆平年値は前5か年(H28～R2)の平均値

※角田市「つや姫」は調査4年目のため過去3年の平均値を平年値とした。村田町「つや姫」は調査3年目のため過去2年の平均値を平年値とした。

(2)【だて正夢について】

- ・南部平坦については、草丈は前年よりやや短く、葉数もやや遅れ、茎数も少なめですが、葉色が濃いことから、生育量の回復は早く、中干しの時期が近づいています。
- ・西部丘陵については、不純天候からの回復が遅れています。葉色が回復してきていることから、茎数増加が期待されますので、水管理を徹底しましょう。

表2 だて正夢の生育調査結果(6月20日実施)

ほ場所在地	地帯区分	品種	田植		草丈		茎数		葉数		葉色	
			本年	前年	(cm)	前年比	(本/㎡)	前年比	(枚)	前年差	(GM)	前年差
角田市	南部平坦	だて正夢	5/7	5/4	43.5	79	346	81	9.1	▲ 0.6	46.3	2.4
蔵王町	西部丘陵	だて正夢	5/21	5/19	28.0	79	84	28	5.8	▲ 1.4	38.6	▲ 7.5

3 今後の管理

【水管理】

- ・有効茎数を確保したら、中干しをしましょう。

□目標穂数（茎数）の目安

○ひとめぼれ：410～460本/㎡
○つや姫：400～440本/㎡

※「だて正夢」の目標穂数（茎数）

350～400本/㎡
(収量540kgを目標として)

【 中 干 し 】

- ・中干しは、有害ガス等の有害物質除去による根の活力向上、無効分げつの発生抑制や土壌物理性の改善に有効です。
- ・中干しの程度は、田面に小さな亀裂が入り、足跡が付く程度の固さまでとし、※「幼穂形成期」の前までには終わるようにしましょう。
- ・中干し終了後に急に湛水状態にすると土壌の還元が進み、酸素不足による急速な還元により根を傷めやすくなります。中干し終了直後の最初のかん水は少なめ（「走り水」程度）とし、間断かん水に移行していきましょう。

※「幼穂」は穂が出る 30 日前頃からではじめます（管内の平年日：7/10 頃から）

【 病 害 虫 防 除 】

「葉いもち」

- ・葉いもち進展は生育不良を招いたり、穂いもちの発生を助長することで減収・品質低下につながります。
- ・水田をこまめに見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。

❑ 残苗（補植用苗）は、早急に処分しましょう。

残残苗を放置するといもち病の感染源となり、葉いもち発生を助長する可能性があります。早急に処分しましょう。

❑ 葉いもち予防剤を箱施用していない場合。

葉いもち防除は予防防除の効果が高いので、早急に粒剤を散布しましょう。

【 雑 草 防 除 】

- ・残草が目立つ場合は、後期除草剤などの利用による除草管理を徹底しましょう。
- ・斑点米カメムシ類は、ヒエやイヌホタルイ等の雑草を求めて水田内に侵入していきます。出穂前から斑点米カメムシ類が侵入するのを防ぎましょう。

❑ 最新情報で農薬登録を確認のうえ、使用してください。

❑ 農薬使用の際に飛散防止対策を講じましょう。

4 直播栽培における管理のポイント

【6月20日調査結果】

- ・草丈は前年よりもやや短く、茎数は前年より少ない状況です。葉数が遅れていることが影響しています。
- ・葉色は前年並みにまで回復していますので、天候の回復とともに葉数や茎数の増加が期待されます。水管理を徹底して生育量確保に努めましょう。

表3 生育調査結果（6月20日実施）

ほ場所在地	品種	播種月日		苗立数(本/㎡)		草丈		茎数		葉数		葉色	
		本年	前年	本年	前年	(cm)	前年比	(本/㎡)	前年比	(枚)	前年差	(GM)	前年差
蔵王町	ひとめぼれ	5/10	5/11	62.5	69.3	20	66	74.0	21	5.0	▲ 2.5	41.6	▲ 0.1

【水管理】

- ・葉色が回復していますので、水温を上昇させることで、分げつの発生が促進されやすい状況です。浅水管理を徹底しましょう。
- ・目標穂数（ひとめぼれ：360～400本/㎡）の確保に向けて、管理を徹底しましょう。（畝間30cmで1mあたり「120本」だと「400本」になります。）

【雑草防除】

- ・ほ場に残っている雑草の種類と葉齢や稲の葉齢を確認し、適切な剤を選んで、適期に処理しましょう。

【いもち病防除】

- ・播種同時施用や種子処理剤の施用を行っていない場合は、粒剤による防除を、今月末までに行いましょう。
- ・直播栽培では、いもち病が移植栽培より急激に広がる事例がありますので、こまめに確認し、早期発見、早期防除に努めましょう。

○令和4年度宮城県農薬危害防止運動実施中（6/1～8/31）

農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農産物を届けるため、農薬の使用に当たっては最新の登録情報を確認し、適正に使用しましょう。

最新の農薬情報は、農林水産省ホームページで確認できます。

(https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/index.html)

○春の農作業安全確認運動展開中（～6/30まで）

- トラクター等の自走式農業機械を操作するときはシートベルト、ヘルメットの着用を徹底しましょう。